

医療現場：看護部

テーマ：ベッド・ストレッチャー用の点滴スタンド連結器具

■ 背景

点滴を受けている患者をベッドに載せて検査室、手術室あるいは別の病室へ移送する際には、2名の看護師が点滴スタンドを把持しながらベッドを押している。ストレッチャーで移送の際は看護師1名で運ぶこともある。多くの病院は人手不足気味のため、移送に割く看護師数を増やすことは難しい。

移送中の右左折時や段差乗り越え時に点滴スタンドが転倒するなどの危険がこの業務には潜んでいる。点滴棒の場合はベッド脇に差し込むことが可能だが、全てのベッドがこのタイプに対応しているわけではない。



■ 現状の課題

- ・病院内は平らではなく、坂となっている箇所やエレベータなど段差が多数あり、これらが移送の不安定要因となる
- ・既存品は強度が低いため、軽量物しか連結できない
- ・重量のある酸素ボンベや手術室からの帰りは心電図モニター、ドレーンを積むこともある
- ・ストレッチャー用の搬送アシストロボットが実用化されつつあるが、高価である



■ 求められる要件

- ・ユニバーサルであること(市販されている様々なタイプの点滴スタンドーベッド/ストレッチャーと連結可能、脱着は容易だが、振動などでは絶対に外れない事)
- ・点滴スタンドの連結位置は、前方、後方のいずれでも良い
- ・重量のある点滴スタンドにも安定して使用出来る耐久性
- ・移送の際、点滴スタンドが看護師の歩行を邪魔しない
- ・軽量/安価であること
- ・移送中に点滴スタンドは絶対に外れないこと(転倒しない)

■ 市場性

患者の移送にベッドを使用するかストレッチャーを使用するかは、患者の状態や移送先の環境に依存するため、両方に連結可能な器具が理想的である。

厚労省の調査によると、1日平均在院患者数は全国で約114万人、平均病床利用率75%と報告されている(令和6年)。これはすなわち全国で約150万台のベッドが病院内にあると推定される。その10%が移送に用いられると仮定しても、潜在的な需要は大きい。

■ 看護部のホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>